

シラバス (外国語) 科

愛媛県立大洲高等学校

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	学年	1	類型	商業科
単位数	4	教科書	Vivid English Communication I			出版社	第一学習社
副教材	Vivid ワークブック (第一学習社) 英単語 ターゲット1400 (旺文社)						

学習の到達目標

<p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を理解したり、これらを伝え合う力を身に付けることができる。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。</p>
--

授業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は、間違いを恐れず積極的に英語でコミュニケーションを図りましょう。 ・1年次には英語学習の基礎を養うことができるよう、予習・授業・復習のサイクルを大切に、語彙・文法の力を身に付けるために、継続的な学習を心がけましょう。 ・英語学習を通じて、世界の多様な言語や民族、社会の事象に目を向けることができるよう、様々な分野の題材に触れます。 ・生徒の段階に応じた自律的な学習を支援し、自ら学びに向かう力を育成します。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括(評定)します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を理解したり、これらを伝え合う力を身に付けている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の対象	定期考査・課題確認テスト(小テスト)・授業時の観察	定期考査・パフォーマンステスト・授業時の観察	学習への参加状況・課題提出状況・振り返りシート・ルーブリックなど
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの</p> <p>4 … 十分満足できると判断できるもの</p> <p>3 … おおむね満足できると判断できるもの</p> <p>2 … 努力を要すると判断されるもの</p> <p>1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1学期	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSのメリットやデメリットについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、最近の出来事などに関する投稿文を書いたり、伝え合うことができる。 ・現在・過去・未来、助動詞について理解を深め、適切に活用することができる。 ・日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。 ・英語でのSNSの投稿文の特徴を理解し、読み手に配慮して、わかりやすく投稿文を書こうとしている。 	1学期 中間考査
	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートの歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、好きな食べ物や飲み物についてプレゼンテーションをし、質疑応答をすることができる。 ・進行形、不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・英語の音の特徴に注意して、英文を発音することができる。 ・英語でのプレゼンテーションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく発表しようとしている。 	
	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> ・羽生結弦選手の活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、羽生選手への応援メッセージを書くことができる。 ・S+V+O (=that-節)、現在完了形、受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・英語の音の特徴に注意して、英文を発音することができる。 ・英語でのインタビューの方法を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、わかりやすく応援メッセージを書こうとしている。 	1学期 期末考査
2学期	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツの特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、創作したゲームキャラクターに関する説明文を書いて、それを伝えることができる。 ・比較（比較級・最上級・原級）、S+V+O+to-不定詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・指示語が指す内容に注意して、英文を理解することができる。 ・英語での質問サイトの投稿文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して、わかりやすくゲームキャラクターの紹介をしようとしている。 	2学期 中間考査
	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・野村萬斎さんの活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、日本の文化や芸能について説明をし、質疑応答やコメントをすることができる。 ・分詞（現在分詞・過去分詞）、It is ... (for A) to ~について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・言語の働き（説明・描写、提案）を理解し、事実や情報、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 ・英語での対話文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して、わかりやすく日本の文化や芸能について説明しようとしている。 	
	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・『この世界の片隅に』の特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、『この世界の片隅に』の一節を演じることができる。 ・現在完了進行形、関係代名詞（主格・目的格）、S+V+O (=疑問詞節)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・言語の働き（相づち、聞き直し）を理解し、円滑にコミュニケーションをすることができる。 ・英語のシナリオの特徴を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく演じようとしている。 	2学期 期末考査
3学期	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、オリジナルの店舗についてディスカッションをすることができる。 ・S+V+O+O (=that-節)、助動詞+受け身、関係代名詞what、過去完了形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・言語の働き（質問、共感、驚き）を理解し、円滑にコミュニケーションをすることができる。 ・英語でのディスカッションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく話そうとしている。 	
	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> ・AIの特徴や活用事例についての確に理解し、内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、グラフから自動運転車に関する日本人とアメリカ人の意識の違いを読み取り、それを説明することができる。 ・some / others、分詞構文、関係副詞（where, when, why, how）について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ・ディスコースマーカーに注意して、英文を理解することができる。 ・英語で統計データを説明する際の注意点を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく説明しようとしている。 	

Lesson 9	<ul style="list-style-type: none">・海洋プラスチック汚染についての確に理解し、内容を整理して伝えることができる。・整理した内容を活用して、学校の環境問題の改善を訴えるためのパラグラフを書くことができる。・S+V+O+C (=原形不定詞・現在分詞) , 条件を表すif-節, 仮定法過去について理解を深め、これらを適切に活用することができる。・パラグラフの構造に注意して、英文を理解することができる。・英語でのSNSの投稿文の特徴を理解しようとしている。・読み手に配慮して、わかりやすく環境改善を訴えるパラグラフを書こうとしている。	学年末考査
----------	---	-------

令和6年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教科	外国語	科目	論理・表現 I	学年	1	類型	商業科
単位数	2	教科書	BIG DIPPER English Logic and Expression I	出版社	数研出版		
副教材	BIG DIPPER ワークブック、BIG DIPPER 総合英語						

学習の到達目標

- (1) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えあったり、やり取りを通して必要な情報を得たりするとともに、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができる。
- (2) 日常的な話題や社会的な問題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、賛成・反対の立場から、意見や主張などを工夫して話して伝えあうことができる。
- (3) 日常的な話題や社会的な問題について、複数の段落からなる文章で書いて伝えることができる。

授業の概要

- ・各単元で学んだ文法や語句を使って、自分の考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う力を育成します。
- ・1年次は、英語学習の基礎を身に付けることができるよう、予習・授業・復習のサイクルを大切に、語彙・文法の力を定着させるために、継続的な学習を心がけましょう。
- ・英語学習を通じて、世界の多様な言語や文化、社会事象に目を向けることができるよう、多種多様な題材に触れます。
- ・授業中は話す・書く活動を中心に、間違いを恐れず積極的に英語でコミュニケーションを図りましょう。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や主張を伝えあったり書いて伝えたりするために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。 ・外国語の語彙、文法、表現などの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を、相手により良く理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見を論理の構成や展開を工夫して話して伝えあったり、書いたりする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト（小テスト）・授業時の観察	定期考査・パフォーマンステスト・授業時の観察	学習への参加状況・課題提出状況・振り返りシート・ルーブリック評価など
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1 学期	PART 1 Lesson 1～3 基本事項の確認	<ul style="list-style-type: none"> 日本語で省略される主語などに注意して、英語の文を表現できる。 伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて表現できる。 	1 学期 中間考査
	PART 2 Lesson 1～2	<ul style="list-style-type: none"> 中学校での既習事項を理解している。 英語で勧誘、提案、依頼をすることができる。 	
	PART 1 Lesson 4～5 否定文・疑問文 時制	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身近な人について、分かりやすく的確に紹介することができる。 現在と過去を表す表現を理解している。 進行形を用いて、自分の家族の紹介ができる。 	
	PART 2 Lesson 3～4	<ul style="list-style-type: none"> 相手の体調を気遣う表現を使うことができる。 	1 学期 期末考査
2 学期	PART 1 Lesson 6～9 未来形・現在完了形 助動詞	<ul style="list-style-type: none"> 未来形を用いて、休日の予定を表現できる。 現在における完了、継続、経験の意味を理解している。 助動詞の意味を理解している。 	2 学期 中間考査
	PART 2 Lesson 5～6	<ul style="list-style-type: none"> 英語で義務、必要や期待、確信を述べることができる。 	
	PART 1 Lesson 10～13 文型・受け身・不定詞	<ul style="list-style-type: none"> 5 文型を使って有名人の紹介ができる。 受動態を使った表現を理解している。 不定詞の形容詞・副詞的用法を用いて、クラスで自分の考えを紹介する。 英語で謝罪する、謝罪に応じることができる。 	
	PART 2 Lesson 7～8	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞、不定詞の名詞的用法を用いて、自分の趣味について紹介する。 分詞の用法を理解している。 英語で感想を尋ねる、述べるができる。 	
	PART 1 Lesson 14～15 動名詞・分詞	<ul style="list-style-type: none"> 同等比較・倍数比較の表現を用いて、部活動の人数を紹介する。 比較の表現を理解している。 関係詞を用いて、隣人の紹介ができる。 	
PART 2 Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> 関係詞を用いて、クラスで自分についてのスピーチを発表する。 	2 学期 期末考査	
3 学期	PART 1 Lesson 16～19 比較・関係詞	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法の表現を用いて、願い事を表現できる。 接続詞の用法を理解している。 	学年末考査
	PART 2 Lesson 20～21 仮定法・接続詞	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢を述べるができる。 同情、共感、励ましの表現を使うことができる。 	
	PART 1 Lesson 11～12 将来の夢	<ul style="list-style-type: none"> 1 年間お世話になった人たちに、感謝の気持ちを伝えることができる。 既習事項を適切に使いながら、喜びの気持ちを表現できる。 	
PART 2 Lesson 13 送別会	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題について、グループで意見交換ができる。 社会問題について、相手の意見を尋ねたり、自分の意見を述べたりできる。 		
PART 2 Lesson 14～15 環境問題			